

『スター』 朝井 リョウ／著 朝日新聞出版 (分類:Fア)

新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した尚吾と紘。2人は名監督への弟子入りとYouTubeでの発信という真逆の道を選ぶ。作品の質や価値は何をもって測られるのか…。『朝日新聞』連載を加筆し単行本化。



『日没』 桐野 夏生／著 岩波書店 (分類:Fキ)

小説家・マッツ夢井に政府組織から召喚状が届き、彼女は断崖に建つ海辺の療養所へと収容される。「社会に適応した小説」を書けと命じられるが…。表現の不自由の近未来を描く、警世小説。『文学』『世界』掲載を加筆し書籍化。



『デルタの羊』 塩田 武士／著 KADOKAWA (分類:Fシ)

アニメ製作プロデューサー・渡瀬は、SF小説のテレビアニメ化に着手するが、業界の抱える「課題」が次々と浮き彫りになり、窮地に追い込まれ…。アニメに懸ける男たちの人生を描く。『ダ・ヴィンチ』連載を加筆し書籍化。



『銀齢探偵社[静おばあちゃんと要介護探偵 2]』

中山 七里 /著 文藝春秋 (分類:Fナ)

元高裁判事・静のかつての同僚たちが、次々と謎の死を遂げた。静は、経済界の重鎮である“車椅子の暴走老人”玄太郎とともに、事件の背後にある「悪意」の正体を追う。『オール讀物』掲載を単行本化。



『滅びの前のシャングリラ』 凧良 ゆう／著 中央公論新社 (分類:Fナ)

1ヶ月後、小惑星が衝突し、地球は滅びる。学校でいじめを受ける友樹、人を殺したヤクザの信士、恋人から逃げ出した静香。そして-。「人生をうまく生きられなかった」4人が最期の時までをどう過ごすのか。



『この本を盗む者は』 深緑 野分／著 KADOKAWA (分類:Fフ)

書物の蒐集家を曾祖父に持つ高校生の深冬は本が好きではない。蔵書が盗まれ、本の呪いが発動し、街は物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り元に戻らないと知った深冬は…。『文芸カドカワ』連載を単行本化。



『孔丘』 宮城谷 昌光／著 文藝春秋 (分類:Fミ)

母の死、息子との対立、老境の旅路…。『論語』に描かれる神格化された姿ではなく、不運や失意にも苛まれた人間・孔子の波瀾万丈を書いた大河小説。『文藝春秋』『オール讀物』連載を単行本化。



『「グレート・ギャンビー」を追え』

ジョン・グリシャム／著 中央公論新社 (分類:933グ)

フィッツジェラルドの直筆原稿が強奪された。捜査線上に浮かんだブルースはフロリダで書店を営む稀覯本収集家。真相を探るべく送り込まれた新進小説家のマーサーは、ブルースに近づき、秘密の核心に迫ろうとするが…。



『17歳』 ひかりんちょ／著 KADOKAWA (分類:159ヒ)

SNS 総フォロワー数 150 万人超のインフルエンサー、JK ひかりんちょの人生相談。「先生がウザすぎる」「父親と壁がある」「家族の仲が悪くて悲しい」など、10代の悩みに答える。



『愛する日本人へ 日本と台湾の梯となった巨人の遺言』

李 登輝／著 宝島社 (分類:289.2リ)

元台湾総統、「台湾民主化の父」李登輝。日本人に贈るメッセージ、日本精神と武士道、リーダーの資質、指導者の仕事、中国とどう付き合うか…。哲人政治家・李登輝の至言を伝える。巻頭グラビア、年表も収録。



『王女物語』 マリオン・クローフォード／著 みすず書房 (分類:289.3エ)

王位継承権第2位のヨーク公の第1王女、リリベット。将来エリザベス女王として位につくことなど、誰ひとり予想していなかった王女5歳の秋より、少女時代、青春の日々をともに宮殿で暮らした家庭教師の回想録。



『家族のトリセツ』 黒川 伊保子／著 NHK 出版 (分類:367ク)

なぜ家族をストレスに感じるのか。親子、兄弟、夫婦。イライラやすれ違いの具体例を挙げながら、そのメカニズムを脳科学の観点からわかりやすく解説。家族という“他人”とうまく付き合うための実践的方法を綴る。



『浅田撮影局』 浅田 政志／著 青幻舎 (分類:748ア)

様々な職業や場面になりきる家族写真が話題を呼び、映画化もされた写真集「浅田家」の著者が放つ新作。自身が地元撮影局の二代目に扮し、家族の力を借りながら、家族&記念写真の新たな可能性を追求する。綴込み別ページあり。



『日本印刷文化史』

凸版印刷株式会社印刷博物館／編 講談社 (分類:749ニ)

1200年以上におよぶ世界に類がない日本の印刷文化を、歴史の筋道から展望する試み。日本の印刷史を文化・社会や技術・産業の重要な一環とみなし、具体的な事例に即しながら、その歴史的展開の諸側面をあきらかにする。



新しく入った 児童図書・YA (10/25) 予約受付いたします！

『もりのおふとん』 西村 敏雄／さく 福音館書店 (分類:Eニ)

森の中に大きなふとんがありました。ライオンがやってきて、ふとんに入ってみたら、「ふかふかおふとん、いいきもち！」そこへ、ワニ、こぶたと、動物たちがつぎつぎにやってきて…。

(幼児～)



『スタジオジブリのいろんなくらし』

スタジオジブリ／監修 徳間書店 (分類:Eス)

家族はだれとだれ？どんな家に住んでいるの？どんな仕事をしているのかな？スタジオジブリの映画の主人公たちのくらしを、さまざまな切り口から紹介する楽しい絵本。

(小学校低学年～)



『拝啓パンクスノットデッドさま』

石川 宏千花／作 くもん出版 (分類:913イ)

高校1年生の晴己は、中学2年生の弟・右哉と、多摩地区のはずれの古アパートで暮らしている。ギリギリの生活を送る兄弟には、心の支えとなる音楽・パンクロックと、「いつか兄弟でバンドを組む」という夢があった…。

(中学生～)



『中高生の悩みを「理系センス」で解決する40のヒント』

竹内 薫／著 PHP 研究所 (分類:002タ)

「理系センス」を身につけ、それを使って、いま目の前にある悩み、あるいはこれから遭遇する問題を解決し、人生を切り開いていきましょう。あなたの生活や人生において役立つ「理系センス」の身につけ方を紹介します。

